雲南市内のヤマタノオロチ伝説承地

アシナヅチとテナヅチの神隠

アシナヅチ、テナヅチの神隠（二神岩）（ふたこいわ）
方万山の山麓にあり、この礼所が湯泉神社の境内に移設されている。

八塩折の酒を入れた壷

日御の八口神社（やくちじんじゃ）の境内に祀られる「八塩折の酒」（やしおりのさけ）の壷。この礼所が湯泉神社の第のつとされている。

天叢雲剣発祥の地

スサノノミコトが、オロチの尾を開き「天叢雲剣」（あめのむらくものつるぎ）を得られた場所に伝えられ、「天叢雲剣発祥の地」といわれている。

喜びの舞を踊った

オロチを退治したスサノノミコトが、「住吉の大」を囲に美しく輝びの舞を舞っている時、その喜びの地に落ちたことから「住吉」という地名になったといわれている。

オロチの尾を祀る

石櫛神社の境内社である「尾長地神社」（おろちじんじゃ）には、スサノノミコトによって切り落とされたヤマタノオロチの尾が祀られている。

宿拾いの地

スサノノミコトが、斐伊川の上流から流れてきた櫛を見つけ、拾った場所が大東町新市の地であったと伝えられます。

オロチの棲み家

ヤマタノノオロチが棲んでいたところといわれています。また、天の川に流れ落ちる山（はんざいさん）にアシナヅチ、テナヅチが住んでいたとされます。

足名椎・手名椎（あしなづち・てなづち）

ヤマタノノオロチが棲んでいたところといわれています。また、天の川に流れ落ちる山（はんざいさん）にアシナヅチ、テナヅチが住んでいたとされます。

八塩折の酒を造った釜跡

スサノノミコトが、オロチに飲ませる「八塩折の酒」（やしおりのさけ）を造らせた場所といわれています。

釜口（かまぐち）

スサノノミコトが矢を放った地

草枕を枕にうめき思いむやマタノオロチに向け、スサノノミコトが矢を射られた場所に伝えられます。

矢放神社（やはなしじんじゃ）

ヤマタノオロチを退治したスサノノミコトが、須賀の地へ向う途中、大東の地にしばし休られ、クシナダヒメとの結婚の場所とされたといわれています。

大東神社（おおひがしじんじゃ）

婚儀の相談をした地

ヤマタノオロチを退治したスサノノミコトが、須賀の地へ向う途中、大東の地にしばし休られ、クシナダヒメとの結婚の場所とされたといわれています。

須賀神社（すがじんじゃ）

クシナダヒメが救出された地。産湯に使う良い水を探し求め、泉湧神社あたりの地を産所に定められた伝えられています。

八雲神社（やくもじんじゃ）

スサノノミコトが、櫛を拾ったこの地に立ち寄り「八雲立つ出雲八重垣つまごみ八重垣作る其の八重垣を」と詠んだ地であったと伝えられます。

竹林が伸びてきた

アシナヅチ、テナヅチがヤマタノオロチから逃げる途中、この地に立ち寄り一本の竹を立てたところ、竹が伸びてきたので、長者の庫方だという地名になったと伝えられます。

竹林寺（ちくりんじ）

酔ったオロチが状にした山

「八塩折の酒」を飲んで、酔いつぶれたヤマタノオロチが枕にして寝た山といわれています。

枕山（まくらやま）

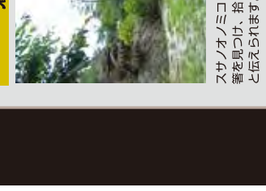
オロチの頭を埋めた

スサノノミコトが退治したオロチの八つの頭を埋め、その上に八本の杉を植えたと伝えられます。

八本杉（はっぽんすぎ）

ヤマタノロチを退治したスサノノミコトが、クシナダヒメと結婚し、宮殿を造ったところを出雲の国に探し求めます。そして須賀という土地に至った時、「わたしはこの地に来て、心がすがすがしくなった」と言って、そこに宮を造ってお住まいになりました。これが須賀という地名の由来になっています。

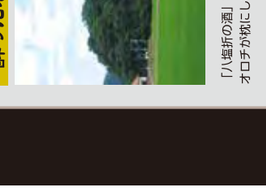
日本初之宮（にほんはつのみや）



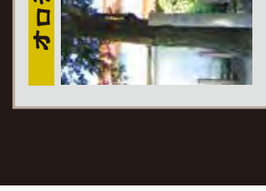
須賀の宮を造る時、そこに白い雲が幾重にも立ち上る様を見たスサノノミコトは、「八雲立つ　出雲八重垣つまごみに　八重垣つくるその八重垣を」という御歌を詠みました。

そして、スサノノミコトはアシナヅチを呼ぶと「おまえを、この宮の首長に任じよう」と言って、稲田宮主須賀之八耳神という名を与えました。

稲田宮主須賀之八耳神社（いなだのみやぬしすがのやみみじんじゃ）



須佐神社（すさじんじゃ）



佐倉神社（さくらじんじゃ）

○お問い合わせ先○
一般社団法人 雲南市観光協会
〒699-1311
島根県雲南市木次町里方26-1(JR木次駅内)
TEL0854-42-9770　FAX0854-42-9771

雲南市の観光サイト「うんなん旅ネット」
https://www.unnan-tanken.jp/

日本海
鳥取県
広島県
雲南市
出雲市
松江市
安来市
米子市
境港市
大山
三瓶山
斐伊川
宍道湖
中海
JR山陰本線
JR木次線
JR三江線
JR伯備線
JR出雲大社前駅
JR出雲市駅
JR出雲坂根駅
JR宍道駅
JR木次駅
JR三次駅
JR新見駅
JR米子駅
JR境港駅
JR安来駅
JR伯耆大山駅
JR出雲横田駅
JR出雲三成駅
JR出雲八代駅
JR出雲神西駅
JR出雲佐白駅
JR出雲高窪駅
JR出雲坂根駅
JR出雲吉田駅
JR出雲八川駅
JR出雲大東駅
JR出雲三刀屋駅
JR出雲掛合駅
JR出雲赤名駅
JR出雲八神

スサノオノミコト・クシナダヒメ、そしてヤマタノオロチがお待ちしていますよ・・・。

八俣大蛇伝承地をご案内しましょう

神話の世界でおちらと（ゆっくりと）お過ごし下さい。

雲南市周辺の ヤマタノオロチ伝説伝承地

船通山（せんつうざん）（奥出雲町）	高天原（たかまがはら）を追放されたスサノオノミコトが最初に天降ったのが船通山の麓、鳥髪［鳥上］の地であったといわれています。
稲田神社（いなだじんじゃ）（奥出雲町稲原）	奥出雲町の稲田はイナタヒメ［クシナダヒメ］誕生の地と伝えられ、稲田神社はイナタヒメを主祭神として祀っています。
元結掛けの松（もとゆいかけのまつ）（奥出雲町佐白）	クシナダヒメが髪を結うとき、元結（もとゆい）［髪を結び束ねる紐］を掛けた松といわれています。
鏡が池（かがみいけ）（奥出雲町佐白）	クシナダヒメがこの池を鏡に見立てて髪を梳（くしけず）った［髪をとかして整えた］といわれています。
長者屋敷跡（ちょうじゃやしきあと）（奥出雲町佐白）	クシナダヒメの両親、アシナズチとテナヅチが住んでいた屋敷跡といわれています。

【ガイドの様子】

▶夫婦岩

「ヤマタノオロチ伝説の舞台・雲南」を、“おもてなしの心”でご案内するのが雲南市観光ガイドです。
神話ロマン溢れる数々の伝承地を“おちらと（ゆっくりと）”ご案内しますので、ぜひご利用ください。

《ガイド料金》 ガイド1名につき2時間まで2,000円、以降1時間ごとに1,000円加算。「ガイド１名で20名まで案内可能」
《申し込み先》 一般社団法人　雲南市観光協会　　TEL0854-42-9770
※ガイド利用日の１週間前までにお申し込みください。

オロチ伝承地を地元ガイドがご案内します！！

神話の里は「神楽」も盛んです！！

雲南市には、ヤマタノオロチをはじめとする出雲神話を演目とした「神楽」が古くから伝承されており、現在でも数多くの神楽団体によって守り伝えられています。古代鉄歌謡館では毎月定期上演を行っており、神話の里に引き継がれる伝統の舞を鑑賞いただけます。

《定期上演日時》　毎月第2 土曜日　19：00～　2 演目を上演
※上演日が変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。
《料　金》高校生以上500円、小中学生200円、小学生未満無料
《問い合わせ先》古代鉄歌謡館　TEL0854-43-6568　●住所：雲南市大東町中湯石84　●休館日：火曜日、12/29～1/3

※写真はイメージです